

第4章 公共交通の課題整理

第1次計画策定時の課題は、各種施策事業の実施により一部は改善されているものの、今後も継続的な取組が必要であることから、本計画では第1次計画の評価結果を踏まえつつ、本市の現状や取り巻く社会状況を反映させながら公共交通の課題を整理します。

課題1 公共交通の維持に向けた市民意識の醸成

- 公共交通を維持していくためには、市民自らが公共交通を守り育てるという意識に転換させることが求められます。また、行政と市民が課題を共有し、関心を高める取組が必要です。

【主な課題】

- ・公共交通の維持およびドライバー確保
- ・市民が公共交通に関する現状や課題等を自分事として捉える意識改革
- ・市民が主体的に公共交通とかかわる意識の向上
- ・意識啓発を図る取組の強化

課題2 地域実態に即した交通サービスの提供と拠点間接続の強化

- 居住地区により移動ニーズが異なるため、地域特性に応じたサービス提供が不可欠です。特に、買い物・通院・通学等の生活拠点をつなぐ移動手段の維持に加え、待合空間の質的向上も図る必要があります。

【主な課題】

- ・公共交通の維持およびドライバー確保
- ・居住地区によって異なるニーズに合わせた運行
- ・既存交通資源を活用した持続可能な公共交通の確保
- ・拠点間接続の強化および待合空間の向上

課題3 利便性と効率性を両立した持続可能な公共交通体系の構築

- 移動弱者の足を確保するため、ドアツードア運行の拡大など利便性を高める一方、深刻なドライバー不足に対応した路線の抜本的見直しを行い、持続可能な運行体制を確立することが求められています。

【主な課題】

- ・公共交通の維持およびドライバー確保
- ・さらなる利用促進
- ・運行の効率化および財政負担の低減
- ・利便性を向上させるサービスの提供
- ・持続可能な公共交通体系の構築に向けた既存交通資源の活用・見直し
- ・抜本的な路線再編も視野に入れた検討
- ・公共交通拠点の整備に向けた検討
- ・過度な家族等による送迎への依存解消

課題4 来訪・来街者の満足度を高める二次交通の確保と接続性の改善

- 観光地や商業地等の主要拠点へのアクセス性を向上させるとともに、鉄道事業者との密な連携により、乗り継ぎ待ち時間の短縮を図る必要があります。

【主な課題】

- ・来訪・来街者にとって利便性の高い移動手段の確保
- ・鉄道と二次交通との乗り継ぎ利便性の向上

課題5 「伝わる」情報発信と利用リテラシーの向上

- 運行内容の周知不足を解消し、未利用層へのアプローチを強化することで利用までのハードルを下げる必要があります。同時に、トラブル防止のため利用マナーの周知を徹底し、快適な移動手段を確保することが必要です。

【主な課題】

- ・効果的な広報活動
- ・利用に向けたきっかけづくりや利用のハードルを下げる取組
- ・公共交通利用者の利用マナー順守に向けた取組